

ニュースレター



NPO法人

あきたパートナーシップ

Vol. 100

発行日 2012. 3.10

編集 NPO 法人

あきたパートナーシップ事務局

連絡先 TEL 080-5566-6238

FAX 018-829-5803

ニュースレターは回を重ねて100号を迎えました。過去のニュースレターを見ると様々な事が鮮やかに、また懐かしく思い出されます。今年度は被災地支援をコーディネートするなど活動の幅が広がりました。来年度も地域課題に応じた活動が求められています。

ニュースレター100号を記念して理事の寺田俊夫氏より寄稿していただきました。

今までとこれからと

理事寺田俊夫氏（寺田内科医院院長）

10年前、「医師と患者の良い関係（パートナーシップ）を作りたい」と相談を受け、以来NPO法人あきたパートナーシップの活動を支援してきました。『お医者さんに聞きたいことを聞けていますか』『賢い患者になるために』などやいろいろな病気について学習し、「患者と医師が同じ方向で病気と向き合う」ための活動を続けてきています。

また、「市民=患者」ではありません。多くの市民は、いつか病気で患者になる可能性があります。現在は病院にかかっていませんので患者ではありません。従って、なかなか患者の立場を理解し難いこともあります。その間をつなぐパートナーシップの活動も重要なのです。

パートナーシップには、いろいろな活動が期待されます。「行政と民間とのパートナーシップ」もその一つで、公益事業を行政に代わり「辛いところに手が届く民間」がサービスを行うことが求められています。当法人が中心になって

いるNPO法人あきたスグッチファンドの活動がそれです。地域の市民活動団体とのパートナーシップを深めながら、子育て支援や環境保護などに活動が広がっています。そのために重要なことは、『認定NPO法人』の認可を得ることでしょう。それにより企業や個人からの寄付金が多くなり、新しい分野とのパートナーシップが出来て行くことを期待しています。

いきいき健康塾での寺田俊夫氏



第5回

おしゃべりナイトルーム

2月9日に第5回おしゃべりナイトルームを開催しました。今年度最後ということで、テーマを設けずパーティ形式で楽しく行いました。初めて参加する方もいて、それぞれ自分が行っている活動の紹介をしながら、交流を深めました。参加者は16人でした。



遊学舎

サポートボランティア会の活動

遊学舎には、施設案内や情報誌かだれの発送、ふれあい広場の花の手入れ、図書整理、パソコン指導などのお手伝いをしてくださるボランティア会があります。

3月7日には午前中にかだれの発送、午後から交流会を行いました。



かだれ発送の様子



交流会の様子
県民歌など歌
いました。

第3回シニアサロン

「遊学舎 うたごえ喫茶」

2月24日（金）遊学舎の研修室6（蔵）で「うたごえ喫茶」を開催しました。

からだをほぐすストレッチから始まり、童謡・唱歌をピアノの生伴奏に合わせて歌いました。歌い方のコツを教わりながら、休憩の合間にはテーブルごとの交流もありました。

講師はNPO法人秋田音楽普及協会 茂木美竹（もてぎみさお）さんです。

参加者からは「続けてやりたいので、サークルを作りたい」との声が聞かれました。参加者は27名でした。



これからの自主事業

市民活動のためのIT相談
市民活動に必要なチラシ、機関紙の作成
ホームページ、ブログなどの困りごとについてお答えします。

日時：3月21日（水）13:30～16:00

場所：遊学舎 研修室 1

定員：先着5団体

（1団体から複数名参加可）

参加費：無料（要申込）